文部科学省

参加費 無料 要事前申込

定員 500名

光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）第1回シンポジウム

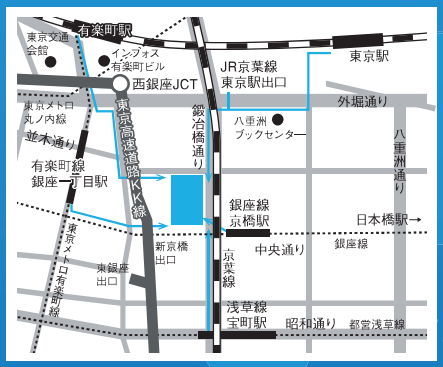
～量子科学技術（光・量子技術）ネットワーク型研究拠点の形成に向けて～

文部科学省は、経済・社会的な重要課題に対して、量子科学技術（光・量子技術）を駆使して非連続な解決（Quantum Leap）を目指す研究開発プログラム「光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）」を開始いたしました。本事業では、量子情報処理（主に量子シミュレータ・量子コンピュータ）、量子計測・センシング、次世代レーザーの3つの技術領域毎に任命したプログラムディレクター（PD）の研究開発マネジメントのもと、異分野融合、産学連携のネットワーク型研究拠点を形成し、Flagship プロジェクトと基礎基盤研究を実施します。

本事業のスタートにあたり、シンポジウムを開催し、各技術領域のネットワーク型研究拠点の紹介及び、近年注目を集めている量子コンピュータをテーマにパネルディスカッションを実施いたします。

日時 平成31年 1/30（水） 13:00～17:00

会場 東京コンベンションホール
東京都中央区京橋三丁目1-1 東京スクエアガーデン 5F



お申込 下記のサイトよりお申し込みください。
https://www.jst.go.jp/stpp/sympo/2018/q-leap.html

プログラム

13:00～13:15
▶ 主催者挨拶　文部科学省
▶ 来賓挨拶
株式会社三菱ケミカルホールディングス　取締役会長　小林 喜光

13:15～14:15
▶ 基調講演　東京大学　総長　五神 真

14:15～15:15
▶ 各技術領域ネットワーク型研究拠点の説明①
量子計測・センシングPD／東京大学　特任教授　荒川 泰彦
次世代レーザーPD／早稲田大学　客員教授・上級研究員　遠藤 彰

15:15～15:30　休　憩

15:30～16:00
▶ 各技術領域ネットワーク型研究拠点の説明②
量子情報処理（主に量子シミュレータ・量子コンピュータ）SPD／
産業技術総合研究所　研究グループ長　川畑 史郎

16:00～17:00
▶ パネルディスカッション「量子コンピュータ」
【モデレーター】産業技術総合研究所研究グループ長 川畑 史郎
【パネリスト】理化学研究所　チームリーダー　中村 泰信
日本電気株式会社　主席技術主幹　萬　伸一
MDR株式会社　代表取締役　湊 雄一郎
株式会社東京大学TLO　代表取締役　山本 貴史
京都大学　特定准教授　藤井 啓祐

主催：文部科学省

お問い合わせ先　科学技術振興機構（JST）　科学技術プログラム推進部　○電話：03-5214-3403　○Mail：q-leap-sympo@jst.go.jp